

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	株式会社 劇団芸優座
公演団体名	株式会社 劇団芸優座

内容
<p>① 第一部(全校生徒の皆さんを対象に・・・ 30～50分)</p> <p>② ☆事前の鑑賞指導 通常通り、公演本番を心待ちにして頂ける様、作品のテーマや見所、時代背景や舞台となる地域、原作者について等、プロジェクターで美しい映像を見ながら簡潔に説明します。</p> <p>☆「お芝居の稽古」体験 俳優が日々続けている発声・発音の練習、呼吸法や準備運動、「リラックスと集中」など、日常生活にも役に立つ演劇訓練も紹介、体験しますが、状況に応じて、実際には声を出さない方法に変更したり、劇団員によるデモンストレーションのみ、あるいは後半全て割愛することも可能です。</p> <p>※ 前半後半それぞれ、放送やリモートに替え、各教室で体験して頂くことも可能です。</p> <p>② 第二部(共演する生徒さんを対象に・・・ 50～90分)</p> <p>★まずは、ウォーミングアップ 通常実施しているインプロゲームの中でも、声を出さず、距離も十分とれるプログラムを選び、コミュニケーションをとる事の大切さ、体一杯で表現する事の面白さ等を経験して頂きます。続いて、その場で一人でできる簡単なエチュード等、演技するための具体的な訓練も体験します。ただし、この前半部分は時間等、実施が厳しい場合は割愛可能です。</p> <p>★舞台に立つための稽古 劇団員とは距離をとり、通常通り、共演シーンの稽古をさせて頂くことが理想です。ただし、先生にはご負担をお掛けしますが、事前に出演台本や楽譜をお送りし、本公演のDVDをお貸しして、予習をして頂くことで時間の短縮も可能です。また、朗読・聖歌隊・スタッフとしてご参加を希望なさる方については、基本的には第二部全て一緒にご参加頂きたいのですが、場合によっては、リモートなどで練習させて頂いた上で、当日のリハーサルのみでの参加でも可能です。</p> <p>※ 残念ながら共演を断念なさって、作品の鑑賞のみも可能です。</p>

タイムスケジュール（標準）

担当者到着～開始時間のおよそ一時間前。準備・会場の下見

第一部(全体向け) 30～50分(終了後、休憩10分)

第二部(共演者のみ) 前半30分・後半30～60分

※ワークショップ終了後、担当先生と公演当日の打ち合わせを予定しています。

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

講師 1名

補助 0～3名(共演がない場合は帯同せず)

学校における事前指導

共演シーンの予習がない場合、資料をお配り頂く事以外は特にありません。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	株式会社 劇団芸優座
公演団体名	株式会社 劇団芸優座

演目
ザ・ラスト リーフ 『 最後の一葉 - O.ヘンリー物語 』 公演時間100分（休憩10分） 原作：O.ヘンリー 脚本：平塚 仁郎 演出：村田 里絵

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
出演者14名 スタッフ3名

タイムスケジュール（標準）
※共演ありの場合・・・ 開演時間 13時30分として・・・ 7時頃到着～ ただちに舞台・楽屋共、搬入・仕込み（所要時間 4時間） （この間に、先生と開演の最終打ち合わせをします） 11時頃～ 共演生徒さん方のリハーサル（所要時間 1時間） （共演生徒さんの衣装合わせ・座席の確認もします） 12時30分頃～ 昼食後、共演生徒さん再集合（メイク・衣裳着替え・準備運動等） 終演15時10分（途中休憩10分） （希望があればバックステージツアー、交流会など開催） ●ばらし作業には1時間半から2時間かかります（希望があればお手伝いも可能）。
※共演なしの場合・・・（公演時間は変わりません） 開演時間 13時30分として・・・ 9時頃到着～仕込み リハーサル・生徒さんの準備以外は通常通り

実施校への協力依頼人員

特にお願いする事はありません。

演目解説

★あらすじ 生き難い時代にあっても、たくましく生きる人々！

短編の名手O. ヘンリーの4作を厳選し、オムニバスで綴ります。
まずは、その見事なまでの「どんでんがえし」をお楽しみ下さい！

第一幕 公園にて（第一話 心と手・第二話 愛の使者）

少年ボブは小遣い稼ぎに、旅支度の男の荷物持ちをするが、鞆が重くてへとへと。公園のベンチで一休みしていると、そこへ通りがかる人たちのドラマに引き込まれ…そもそも、その旅支度の男も何やら大変な訳有りの様で…

第二幕 ボブのアパート（第三話 賢者の贈り物・第四話 最後の一葉）

ボブのアパートには、貧しいながらも人生を謳歌するユニークな住人が大勢いた。仲睦まじい若夫婦デラとジム、病に倒れたジョンジーと同じ絵描きの仲間達…その年のクリスマス、それぞれに特別なプレゼントが用意されていた…

★テーマ 自分より大切に思える誰か…あなたにとって、それは誰ですか？

- ☆ 普通の人々の何気ない暮らしに向けられたO. ヘンリーの温かい目、ありふれた日常の中にこそある幸せや希望を見つめ、生きていくために本当に大切なものは何なのかをあらためて考えます。
- ☆ 人間誰しも陥る危険性のある絶望や無力感、そこから自ら這い上がろうとする時大きな支えとなる、そんな人との絆、その絆の結び方を考えます。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

◎事前の鑑賞指導について

わずかでも作品の背景を知ること、当日、積極的に深い鑑賞が可能となり、より楽しめる事は確実です。そこで、この時間に関しては、放送やリモートに変更しても、ぜひ実施をお願いしたいと思います。コロナ禍にあっても、舞台芸術が映像とは違う、「観客」と共に創造していくものであるという事を、なんとか「体験」して頂きたいと願い、豊かな時間となるよう工夫します。

◎共演について

安心安全を第一に考え、ワークショップから本番まで、共演生徒さんには常にマスクの着用をお願いし、俳優も共演シーンのみは舞台上マスクを着用しています(舞台袖では全員マスクを着用)。また、生徒さんの衣装替えはご自身で出来るよう予め準備を整え、鬘は使用せず、メイクも可能な限り(ポイントメイクなど)とさせて頂いています。
また、共演までの控え・鑑賞も舞台袖ではなく、特設座席をフロアーに設け、常に俳優とは距離をとります。

児童生徒とのふれあい

通常は、お別れのその時まで、ふれあいを大切にしていますが、コロナ禍にあっては対面では難しい為、これまで以上に、感想文やお手紙でのやりとりを増やしたり、人数の制限はありますが、リモートでの交流などをご提案しています。